

報道関係者各位

2021年10月1日
株式会社アルジー

『東京 2020 オリンピック』の国際伝送を行いました。

株式会社アルジー(本社:東京都港区、代表取締役:宮城信彦)は、2021年7月23日~8月8日で開催された東京 2020 オリンピックの国際伝送業務を行いました。

本大会ではオリンピック放送機構による国際放送業務の伝送業務の運用を SES(所在地:ルクセンブルク)と株式会社アルジー(以下、当社)の2社で行いました。

本国際伝送業務において、当社の提供した役務及びサービス内容を下記の通り記載します。

【衛星中継伝送サービス】

1.各競技会場及びIBC(国際放送伝送センター)間の伝送業務

衛星中継車より SES12 Ku バンドにアップリンクを実施しました。



(IBC 内 SAT FARM での様子)



(オリンピック競技場での伝送の様子)

東京ピクサイト内 MPC(メディアプレスセンター)に集約された各競技の映像は、固定回線と衛星回線により世界中の放送局に配信されました。

2.競技会場の中継ポイントでの伝送業務

各競技の競技場とIBC(国際放送伝送センター)間の伝送業務を行いました。

富士スピードウェイにて実施された自転車競技の中継ポイントである三国峠にて

OBS(オリンピック放送機構)よりカメラの映像信号を受け衛星中継車にて伝送しました。



(三国峠中継ポイント)



(自転車競技の伝送映像)

これにより、固定回線が敷設されていない中継ポイントでの映像を配信しました。

3.放送の非常バックアップ構築及び放送監視業務

IBC(国際放送伝送センター)SAT FARM に当社アンテナを設置しました。固定回線による放送のバックアップを目的として、衛星による放送バックアップ体制の構築をいたしました。

また、アルジーグローバルテレポートセンター(三重県四日市市)において、中継車から伝送された映像を受信し、IBC からの世界配信に問題が生じた際の非常時のバックアップとして Asiasat5 号機 C バンドに送信できるようセッティングし待機を行いました。



(IBC アンテナ施工風景)



(SES12 衛星向けアンテナ)



(アルジーグローバルテレポートセンター)

その他、スタッフ 1 名が SAT FARM に常駐し受信レベルやマージンの放送監視業務を行いました。

その他、運営サポート及びイベントコーディネート

- ・日本国内における海外放送局様対応
- ・3 名通訳スタッフ

【衛星中継事業部概要】

当社、衛星中継事業部は東京 2020 オリンピック大会を始め下記の伝送をおこなってまいりました。今後も衛星・放送技術のプロフェッショナルとして、従来の取り組みと 5G など新しい技術を連携させ、TV-U や Live-U を使用したオンライン配信、OTT プラットフォーム様向けの配信ニーズにも対応し、新しい価値を提供してまいります。

【伝送実績】

2019年ラグビーワールドカップ

2018年日中韓首脳会談中継

2017年冬季アジア大会中継

【その他】

<社内有資格者>

- ・第一級陸上特殊無線技士 8名
- ・第一級陸上無線技術士 1名
- ・第一級総合無線通信士 1名
- ・第一種伝送交換主任技術者 1名
- ・主任無線従事者 1名

【保有施設】

- ・四日市グローバルテレポートセンター
- ・衛星中継車 (<https://www.aruji.com/list/satellite-vehicle/>)

【企業概要】

会社名:株式会社アルジー

所在地:東京都港区三田 5-4-3 三田プラザビル 5階

代表者:宮城信彦

設立:平成年7月4月3日

事業内容:電気通信事業、衛星中継業務、放送送出業務、映像制作編集業務

HP:<http://www.aruji.com/>

<本件へのお問い合わせ>

担当:経営企画室 宮城信也

TEL:03-5419-7955 FAX:03-3455-3869

Mail:shinya-m@aruji.com